

令和3年度 「全国学力・学習状況調査」の結果について

5月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について報告いたします。この調査は、全国の6年生児童を対象として文部科学省が行ったものです。神奈川県及び全国平均と比較しながら分析を行っております。

1 教科別学習状況調査結果

(1) 平均正答率 (%)

	国語	算数
子安小学校	67.0	74.0
神奈川県	63.0 (+4.0)	70.0 (+4.0)
全国	64.7 (+3.3)	70.2 (+3.8)

※()内は本校の結果との差を示しています。

国語、算数ともに、神奈川県の平均及び全国平均よりも高いことが分かります。

(2) 問題区分別平均正答率 (%)

【国語】

分類	区分	平均正答率 (%)			
		子安小学校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)	
学習指導 要領の 内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	67.8	63.8	68.3
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	78.9	78.9	77.8
		B 書くこと	66.9	58.3	60.7
		C 読むこと	53.7	48.7	47.2

「言葉の特徴や使い方に関する事項」(全国比-0.5ポイント)を除き、全ての問題区分において、神奈川県の平均及び全国平均を上回っていることが分かります。特に「書くこと」に関しては、平均を大きく上回っています(神奈川県比+8.6ポイント、全国比+6.2ポイント)。

【算数】

分類	区分	平均正答率(%)		
		子安小学校	神奈川県 (公立)	全国 (公立)
学習指導要領の領域	A 数と計算	66.9	62.2	63.1
	B 図形	61.8	57.3	57.9
	C 測定	78.9	74.7	74.8
	C 変化と関係	78.5	76.6	75.9
	D データの活用	79.4	77.1	76.0

全ての問題区分において、神奈川県のア平均及び全国平均を上回っていることが分かります。特に、「A 数と計算」領域、「B 図形」領域、「C 測定」領域においては、概ね3~4ポイント程度、神奈川県のア平均及び全国平均を上回っています。

2 生活習慣・学習習慣調査結果【児童質問紙】より

全国平均と比較して、大きな差が見られた質問項目

4つの選択肢 (1.当てはまる 2.どちらかといえば、当てはまる 3.どちらかといえば、当てはまらない 4.当てはまらない)のうち、1.を選択する割合の差		
1 1	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	全国比+8.4ポイント
2 4	今住んでいる地域の行事に参加していますか	全国比+10.1ポイント
4 0	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	全国比+9.7ポイント
4 3	国語の勉強は好きですか	全国比+11.8ポイント
4 4	国語の勉強は大切だと思いますか	全国比+8.6ポイント
4 5	国語の授業の内容はよく分かりますか	全国比+14.5ポイント
5 4	算数の授業の内容はよく分かりますか	全国比+9.9ポイント
6 1	英語の勉強は好きですか	全国比+11.2ポイント

3 今後の取組

【総評】

学習状況のア平均正答率は、国語、算数ともに神奈川県のア平均や全国平均をほぼ全て上回る結果となっています。また、質問紙調査の結果をしてみると、学習に対する姿勢（「勉強が好き」、「勉強は大切」、「授業の内容がよく分かる」）が全国平均と比較して、とても前向きであるということが分かります。子どもたちにとって、「楽しい」、「よく分かる」授業を行い、確かな学力や主体的に学ぶ態度をこれからも育成していきたいと思ひます。

【国語】

正答率が全国平均に達しなかった「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、漢字の書き取りや語彙、文法などの全ての学習の基礎力に関わる内容です。日々の国語科の学習のみならず、全ての教科等の学習を通じて、これらの力を伸ばしていけるようにしていきます。

【算数】

いずれの領域も全国平均を上回る結果となっています。令和2年度より行っている算数科の授業研究を中心にしながら、子どもたちが「算数が好き」「算数が楽しい」と思えるような授業を心がけていきたいと思ひます。